



うなりくんとチーバくんがお出迎え(さくらの山)



光のトンネルをくぐって(さくらの山)

うなりくんイルミネーション

地域の手で冬の夜空を装飾

市内の有志によって、成田市観光キャラクター・うなりくんのイルミネーションが市内各所に設置され、人々の目を楽しませています。イルミネーションが見られるのは、京成公津の杜駅前、はなのき台、ボンベルタ成田店脇バスロータリー、三里塚記念公園の5カ所。このうち、さくらの山では、12月5日に点灯式が開催され、ミニコンサートなどが行われました。イルミネーションは1月31日(さくらの山は2月中旬)まで毎晩点灯されます。

卵を巻いて作る
ツバキの花



きれいなバラの模様に思わず笑顔

太巻き寿司講習会

11/26

郷土料理を修得

千葉県の郷土料理に親しんでもらおうと、「太巻き寿司講習会」が中央公民館で行われました。参加した19人は、バラとツバキの花の2種類に挑戦。桜でんぶ・紅しょうがなどを具にして、目でも味わえる太巻き寿司を完成させました。先生は「来客時に太巻き寿司をお出しするととても喜ばれます。自宅でも作ってみてください」と話していました。



思い思いに寄せ植え(左下は完成品)

季節のガーデニング教室

12/3

多肉植物を身近に

多肉植物の寄せ植えをテーマに、「季節のガーデニング教室」が市体育館で行われました。鉢の表面に装飾用の紙を貼り付けた後、6種類の植物を、色や大きさなどを考えながら配置。多肉植物は、肉厚な茎や葉に水をためることができるため乾燥に強く、手入れに手間が掛からないのが特徴です。参加者は、完成品を周りの人同士で見せ合うなど、出来栄えに笑顔浮かべていました。

放課後わくわく科学遊び

12/9

「尿素」でツリーに雪化粧

身近にあるものを使った「放課後わくわく科学遊び」が、子ども館で全4回にわたり行われました。最終回のこの日のテーマは、「尿素の結晶を作ろう」。参加した小学生15人は熱湯に大量の尿素を溶かし、洗濯のりと食器用洗剤、クレンザーを加え、クリスマスツリーやモールなどに吹き掛けました。しばらくすると、尿素が真っ白な結晶になって現れ、ツリーに霜が降りたように。この結晶は一晩置くと、もっと大きく成長するそうです。



尿素の水溶液を吹き掛ける



たくさんの人でにぎわう会場

クリスマス・フェスティバル

12/12

光の演出が観客を魅了

一足早いクリスマスの雰囲気を楽しんでもらおうと「クリスマス・フェスティバル」が成田空港で開催されました。会場では、ガールズバンド「ねごと」やジャズオーケストラなどによるステージイベントが行われたほか、ケバブなどの模擬店が出店されました。日が落ちて辺りが暗くなると、巨大ツリーとミニツリーが点灯。訪れた人は幻想的な光の演出を楽しんでいました。

絆「Ekiden」

12/12

力を合わせて42.195キロ

市内外から15チームが参加し、「絆Ekiden」が中台運動公園陸上競技場で開催されました。競技場のトラックと競技場周辺で構成された1周1001.5メートル(第1走者は1133.5メートル)のコースを42周する今大会。1チーム8~14人で、性別や年齢、走る順番・回数は自由です。選手たちはチームメートの期待と声援を背に、任された距離を走り抜きました。



たすきを受け走り出す女の子